



理容 やまがた

—発行所—

山形県理容業
環境衛生同業組合

〒990 山形市清住町3-2-65

電話 0236-45-3525

発行者 富樫富太郎

編集者 長沼日出夫

購読料 1部10円毎月1回発行

組合員の購読料は賦課金の中に含まれて居ります。

「青年理容師が意見を交換し、業界発展に尽して行こう。」

を主旨に県内各支部より次代を担う青年幹部が、研修会



明日の理容界を担う 県青年部リーダー研修会 開催さる!!

を開催しました。

富樫理事長より「理容業界の現況について」天童若松寺責任役員、氏家栄脩先生より「心豊かな人となる為に」をテーマに講演されました。

又講演終了後、青年部員のみによる、討論会を行い、業界の種々問題を、話し合いました。二月十五・十六日山形厚生年金休暇センターには、各支部青年部員三十七名が集合、互いに地区は離れていても野球等を通じ顔なじみ、ロビーは華やいだ雰囲気になりました。講演で富樫理事長は、組合組織創立三十周年に当り理容師法制定時に於ける諸先輩方の努力を始め、中央高等

理容学校が業界に於いて果たした意義等を語られ、特に「個々の店舗の弱さを組織を背景にした形で行政に繁栄する事が、組合組織の一番のメリットである。青年部諸兄にも育

従的でない、創造、発展的な意見の交換をされる事を期待する。」と結ばれた。

氏家栄脩先生は、天台宗の僧侶で、公民館活動を通じて各方面で公演されておられる。今度は、先生自身の経歴、明治の偉人、福沢諭吉先生の七

つの格言等を、種々実話を交えて語られました。七つの格言の一部を紹介致します。

「世の中で一番楽しく、立派な事は、一生涯を貫く仕事を持つ事である。」

「世の中で一番尊い事は、人の為に奉仕して、決して恩に着せ無い事である。」

「世の中で一番みにくい事は他人の生活をうらやむ事である。」

午後三時より行なわれた討論会は、来賓の県組合木村組織部長の挨拶を戴き、座長に松田貞雄青年部委員長を選出し、NHKテレビ、朝の番組「おはようジャーナル」で放映された、九州地区に於ける大型低料金店舗についてより話し合いが始まりました。

※九州に於ける大型店舗はともかく、山形駅前には有る低料金店舗は、規模が小さいので業界全体に対する影響は少ないと思うが、隣接する店舗は、大変な脅威となる。

※組合組織では、低料金店舗を法的に規制出来無いとしているが、九州地区では、組合員店舗も対抗上低料金で営業を行い、又、廃業した店舗

も有ると聞く。この様な過当競走の状態に有って適正化規程で規制出来ないのか?

※低料金の店舗も業界にとって脅威となるが、若い消費者が美容業界に流れていく傾向は、低料金店舗以上に恐ろしい事だ。

等の意見が出された。又低料金店舗で行われているチラシ広告、物品供与に関し、県内各支部の現況を報告し合つた。それによると理容まつり以外で景品を御客様へ提供する行為を禁止している地区が多いが、一部に酒をサービスしたり、ラーメンを出したりする店舗が有る事を聞き一

同驚く報告もありました。
 ※サービス業が、サービスをどの程度に押えるか問題だが、理容まつりを始め物品を供与する場合、御客様に夢を与える様な品を供すべきだ

※支部役員に、景品を始め営業行為に関して問い合わせると明確な答が聞けず「申し合せだ。」との返答が多い。基準が明確で無い。
 ※大型店舗では景品を出す経費は売上に対しそれ程の負担とはなら無いけれど、小型店舗では影響が大きい。物品

供与による競走は、小型店舗保護の為に禁止すべきだ。業界振興指針に基づき実施されている理容まつりについて話し合われた。

※理容まつりの景品は、「呉れるからもう」と言う事で無く、御客様より本当に喜んで戴ける品を選んではしい。

※現在の企画は、東京の企画広告会社によると聞く、業者に頼らない県独自のプランで実施しては。他県では、抽選会形式で行い、沖縄旅行を賞として出している所もある。抽選会で有れば後々当選する楽しみが残る。

※理容まつり景品を決定する会議に、若い世代が、実行委員となり出席、検当する様な形式を取れないか?

※理容まつりの景品売上に、関係企画会社よりバックマージンが有り、収入は一部理容会館建設時の借財返済に当てられていて聞いている。若い世代の組合員には、理解されていらないのでは無いか、借財返済は組合員全員が負担し理容まつり参加組合員には御客様への感謝企画でも有る訳だから、組合費より助成する位であってほしい。

理容まつりに関して種々話合われ、景品を選ぶ場合は組合員に景品に関する希望アンケート調査を実施される様、県青年部として、組合執行部に要望する事を決めました。

又今後の青年部の有り方についても話し合われ、今度の様な会議を毎年開催し、行動的で、バイタリティな若い世代の考えを、組合組織に繁栄して行くべきと決議し討論会を終了しました。

二日目は、宮城県リクレーション協議会が考案したピニボールボール講習が行われました。従来の硬質ボールと異なり、手に当る衝撃も少なく、始めて経験される方も低抗無く楽しめる手軽なスポーツとして、全国に普及しているゲーム。腕に自信の有る青年部員もピニボールが相手だけに、自然カーブ有りシ

ュート有り定まらない球を追いかけて右往左往。折からの寒波に冷え切った体育館も、三十分も経つと全身から湯気が立つ熱の入れ様、珍プレーの連続に笑い、時の過ぎるのを忘れる講習会でした。

山形県理容青年協議会

広報部

第7回理事会から

S62年2月16日
 県理容会館

議題

- 1, 30周年記念式典表彰規定について。
- 2, 62年度予算(案)の説明。
- 3, 当面問題となっているエイズ対策、厚生省通達の消毒法について。
- 4, 県立技術専門校理容科廃止について
- 5, 新発売ドライヤーの説明。

	定 価	組 合 員
ホワイト	14,800円	6,000円
レッド	13,800円	5,500円
マスク(100枚入)	3,000円	2,000円

- 6, その他

青年協議会 リーダー研修会 に参加して

S62.2.15~16

理容業界に携わってまだ四年ぐらいの自分が、この様なリーダー研修会などという会に出席などしてよいものだろうかと不安な気持ちで会場である厚生年金休暇センターに着き、周囲を見ると三十、四十才位の県の理容業界を引

つぱっている方々の中で、いっそうくる所をまちがったのではないかと思いました。しかし帰る時にはこの研修会に参加した満足感と、こういった研修会には私達二十才前後の若い世代の理容師も参加せねばいけないという考えをもちました。さて、私の考

えを変えた研修会の内容、及び感想を書きます。まず、富樫理事長の「理容業界の現況について」という講演があり県理容業界の理事長としてのすばらしい講演でしたが、私にはあまり強い印象はあり

ませんでした。「スミマセン」
次に氏家さんというお客様
の「心豊かな人となるために」
という講演がありました。
これに私は強い感銘を受けま
した。

内容は経験談や本人の感銘
を受けた事や「幸わせの定義」
として七つに分けてのお話で
した。まず経験談とはお尚様
が一会社員として十年余りし
たのち35・36才で一生つらぬ
く仕事を持つ為退社され現在
の道に至ってるとの話で、
理容師も定年などないすばら
しい職業であり、70・80才に
なっても一生をつらぬいて理
容に従事してほしいといわれ
ました。

次に御自身が感銘を受けた
話で私達が忘れてかけている
「心」についての話でした。
(内容は五つ六つほどありま
したが省略します)

次の講話は「幸わせの定義」
としてでした。その事を簡条
書きして見ます。

①世の中で一番大切な事は一
生つらぬく仕事をもつ事
②世の中で一番はじめの事は
人間としての教養がない事
③世の中で一番淋しい事は仕
事が無いこと

④世の中で一番みにくい事は
他人の事をねたみうらむ事
⑤世の中で一番尊い事は人の
為に何かをやり何んの代償も
求めない事
⑥世の中で一番美しい事は、
すべてのものに愛情をもつ事
⑦世の中で一番悲しい事は嘘
をつく事

以上その内容は長くなるの
で省略します。

理容師として、又一人の人
間として自分の資質を向上さ
せるのに必要なすばらしい感
銘を受ける話でした。今後も
こういった講演が業界の発展
の為、又理容師(個人)の向上
の為にも数多く企画される事
を私は希望致します。

結論みたくなりましたが、
最後にこの研修会の目玉であ
った「明日の理容を語る青年
部活動のありかた」という名
の討論会では、大きく分けて
低料金店に対する討議と理容
まつりについての討議があり
ました。

低料金店は山形市をはじめ
上山市、天童市、庄内地区、
その他にも徐々に仙台・新潟
などより進出、オーブンして
いるが、近くにオーブンされ
た店の方の話では、初めお客

様は流れるが、また戻って来
るといった話でNHKでも放
映されたようにいていねいな技
術と真心のこもったサービス
をしているればお客様はきてく
れるものだという結論に終り
ました。

次に理容まつりについては
お客様にあまり喜ばれない品
物が多いという話で、

○環境物産以外の会社からと
れないか?

○決定する時もっと若い人の
意見を入れられないか?

○理容組合員のアンケート調
査をしよう。

といった話が出、とりあえず
アンケートを取ろうという事
にこの討論会では決定。

以上の事を組合上層部で検討
してもらうことになりました

これで討議の内容に関して
終わりますが今回の研修会は
若い組合員が結束し意気を高
める為にも今後共継続すべき
ものだと思います。

又各支部でもこのような研
修会が活発に催される事が、
将来の山形県理容組合の発展
に寄与する事を確信し、私の
感想とさせて戴きます。

米沢支部

二瓶 直幸

新年パーティー

雪のまったくない正月を迎
え、なんとなく調子がくるつ
たような今年、一月十九日飽
海支部青年部・婦人部総会並
びに合同新春パーティーが酒
田平安閣に於いて開催されま
した。当日は寒さがきびしく
参加数が危ぶまれましたが、
八十余名の方々に御出席して
戴きました。青年部・婦人部
の総会がそれぞれの間で開催
され、中條支部長の挨拶に続
き、富樫組織部長、青年部・
婦人部各部長の順で進行し、
六十一年度事業報告、六十二



総会の繁張感から開放され
て、次にいよいよ合同新年パ
ーティーが最上の間で開宴さ
れました。中條支部長の挨拶
に続き、堀共済部長の音頭に
よってワインでの乾杯でオー
ブニングです。

グラスに注がれたワインが
華やかなパーティーに一段と
花を添え軽快な音楽に合せて
、五十嵐教育部長の進行で会
場いっぱい親睦の輪が広が
って行きました。

テーブルいっぱい料理、
ビール、ウイスキー等、飲み
放題、食べ放題でした。

お腹の皮も大分のびた所で
いよいよカラオケ、踊りと進
行されていきます。

皆さん時のたつのも忘れて
飲んで食べて唄って踊ってと
てもにぎやかです。ほんとう
に時間を止めておきたい程で
す。

これからも支部一丸となり
組合員の一人として頑張ら
れたいと思っています。参加し
て戴いた皆様方御協力ありが
とうございました。最後にパ
ーティーのスタッフの皆さん
本当に御苦労様でした。

飽海支部広報部長

菅原 紘子

村山環境衛生協会 経営相談員研修会

1月26日・滝の湯ホテル



司会、鈴木直信さんのあいさつと紹介、矢口副会長さんの開会の言葉、村山保健所長代理、笠原幹事長さんから、新年明けましてお目出度う。二十三名全会員の出席ありがとう。国家予算、公共事業費の消費拡大の中、ほんとうに大変な事だと思いますが、これからのきびしい正念場の中で、業界発展向上のために、本日の研修会を通じて、内和造りを中心として、自主管理指導協力を望みます。

六十一年度、最上ブロック研修発表された中で植松理事さんの、衛生施設、設備管理

指導について、スライドを通した明解な説明発表は、素晴らしいものであり、自主管理巡回指導の努力を通じて、業会発展の基本であります。

クリーニング参与管さんの業界指導協力の成果に対して厚生大臣表彰の栄誉お目出度う。今後共に業界の向上発展のために、変らない活躍を望みます。次に後藤会長さんから唯今所長さんからのご挨拶ご意考と同意です。クアハウス基点での最上ブロック、研修会で村山保健所長、山本先生

の働く人の成人病予防について、高血圧予防十カ条、健康生活の基本講話。植松先生

の自主管理巡回指導発表と共に、研修会員の素晴らしい好評を拍し厚く御礼申し上げます。次に本日の研修の始めに体験発表「理容所自主管理巡回指導から」経相特別相談員植松好雄さんを紹介致します。昭和五十年に経営相談員に

対する、協力を得るために、どうすれば良いかが等について経相員と保健所行政職員を交えた研修を行ない協会員のみなさんの理解と協力によって、自主管理票の実施記入も成果を挙げられ、昭和五十二年

度協会理事會に於いて、暖房・換気・採光設備を積極的

に指導して昭和五十九年度に於いて九十五%までの設備が完了しており六十年より、作業内外並びに器具器材の整理整頓、手指及び器具消毒整備の設置、消毒薬紫外線消毒器の正しい使用法の指導を重点目標として居ります。

続きましては六十一年度開始して経相員のみ活動として七月中に、未実施施設店を三名一組となり、コミュニケーションの場を作り、ながらの自主管理指導、全施設を完了、この結果として第一に気楽に対話ができると好評を得

ました。第二に消毒薬の使用法、紫外線器の修理法や、設備場所の設置等、今までになく充実した指導内容であり、第三に各店舗の施設特長や整理整頓、各消毒器の使用状況等、自然のままを、機会あるごとに写したスライドを見ていただき、参考になり、又反省していただけたと思います。最後に私たちコミュニケーションの場を通じて業界員のみならず方々温かい御理解と自主管理思想を高め清潔な施設作りに前進をお願い致します。次に会長後藤座長さんから幹事保健所笹原さん戸村さんから、昭和六十一年度自主管理指導、実施状況について、研修要点的指導解説をお願い致します。

三、作業室内の空気と温度の衛生。
湯沸器や、ストーブの不完全燃焼のため、充分な換気又室内の上部は暖気の、下部は寒気の停滞、従業員の頭と足の温度差のために、健康被害のおそれあり、サーキュレーター設備が必要であります。

四、クリーニングの衛生。
洗濯物の病原菌の汚染、処理工程中の種々の細菌に十分な殺菌消毒、作業者の着衣、手袋の洗浄消毒作業室内の換気、使用器具の殺菌消毒。

一、美容所におけるクレゾール、ホルマリン
ホルマリン、ギャク性石ケン液、等による消毒について、紫外線照射、蒸気、煮沸消毒、乾熱滅菌によるタオル、布片、器具類消毒
二、薬品温度の低下と殺菌効力
三、湿熱による温度と殺菌時間の関係
四、シラミについて、人に寄生するのは、アタマジラミ・コモロジラミ・ケジラミでありそれぞれの生態習性駆除の種

上の山市技能功労者
田中 豊氏
が受賞されましたのでここに御披露申し上げます。

北村山支部広報部長
太田 重治郎

類、及び消毒薬品、温・乾熱方法等についての実施指導解説をしていただき最後に研修員の質問にも解答されました。◎次に私たちの活きる力の基本となります映画「中高年からの健康設計」が上映され最後に井上副会長さんから研修指導の先生方に感謝と御礼の言葉を申し上げ、最近完成された素晴らしい滝の湯浴場、サービス万点の懇親会、どうぞお楽しみ下さいと閉会十六時懇親会十八時、齊藤昌士さんの司会、菅満太郎さんの乾杯、時の流れも忘れての楽しい話合。花も実もある、カラオケ演歌、合せて踊る社交ダンス、楽しい楽しい思い出となり、明日からの業界発展のために頑張る、強い力となることでしょう。



米沢支部のサークル活動、講師会、婦人部の活動は目ざましいものですが、当支部の野球部(シザーズ)も二瓶睦男監督、吉田章キャプテンでシーズン中は大変な活躍でした。おしくも優勝は逃がしたが、今年も多に活躍を期待したいものです。

米沢支部 広報部長

我彦 興二

米沢理容講師会

米沢理容講師会は、組合員の中の主にヤングパワーであふれている40名の方で構成しているグループです。

年間を通じての活動は、二月には新年会を兼ねての総会に始まり、四月には上杉神社

内の桜の木の下での花見、六月には東京から講師の先生をお呼びして講習会を開き、皆さんと一緒に勉強会を致しております。

八月にはビアホールを借りきつてのビアパーティーを行ない真夏の夜を満喫しております。

十月・十二月には、会員のお店を利用して講師の先生と会員が実際に研究をしながらの勉強会を行なっております。

年のしめくくりの十二月には、組合講師会共催による盛大なクリスマスパーティーを行います。以上で一年間の事業内容を紹介させて頂きました。米沢理容講師会は昭和二十三年の時に発足して今現在まで至っております。これからも講師会発展のためにがんばりますので皆様どうぞよろしくお願い致します。

米沢理容講師会会長

嵐田 秀一

婦人部活動

上杉の城下町、米沢は、今年NHK大河ドラマ独眼竜政宗公の生誕地として知られる様になり、その主演の渡辺謙さ

んの後援会の輪をひろげようと市民一丸となっており、支部でも積極的に参加して熱い声援を致しております。

婦人部の活動は、五十四年に全組合員女性に参加できる会として発足し、上杉記念館で「子供のしつけ」のテーマで講習会そして、懐石料理を食べながらの花見が最初でした。



59年ソーパガーデン
60年レジンフラワー
モザイクアート
61年アミングラフト
今年も又新作品づくりにがんばります。

昨年六月三十日、県婦人の集いではコーラスをやりました。月二回、八カ月にわたる音譜を一つ口に読みながら、練習は、大変なものでした。

発声に、のどがヒリヒリしてきます。音大卒の美しい先生の熱心な御指導のもとに、レッスンの最終日、白いブラウスに黒のスカート、胸に赤いカトレアのブーケを飾り、文化センターのステージに立って「夜明けの歌」勇気のうた」を声高らかに合唱出来た時の喜びと不安が今でも思い出されます。

その後、料理教室、きもの着付、書道、茶道、絵画、ダンス、手芸等……その中で手芸は五十五年県文化展に始めて支部作品としてリボンフラワーを展示しましてから毎年出品させて頂きました。

56年ミニ盆栽
57年フェルトバック
58年色紙人形
今年にはバニャーボール大会が催されるわけですがこの親睦の輪がもつとつと広がります。米沢支部婦人部長

今村 節子

第二十一回世界理美容選手権大会 国際会議

世界大会に参加して…

—連載第三回—
 富樫 富太郎



議の中で、重要な問題が論議された。それは六年先の一九九二年開催の世界大会の開催国の希望についての議題は中々定まらず次の会議で決め様としたが、それにはどの国も同じく心構えと準備もあるからこの会議で決めるべきだと云う意見から押され、イギリスはどうしてもと云う積りであったらしいが、議長から投票に依って決めましょうと提案あり投票に入るや、結果は日本二十五票、イギリス四票、白票一票で、圧倒的な日本開催(アジア諸国連合)の支持を得たことである。

総べてに先進国の仲間入りをして居る日本としては、立派に引受けねばならない。六年後のことだが、新野理事長を中心に、全理連の組織を挙げて今から取り組むのがベターだと思ふ。理事長の心境もたしかに複雑なことは察せられる。最初から何がなんでもその開催を持って来ようと望んだのではないのだから。

紙上で余りくわしいことはさけるけど、これからは美容組合側ともコンセンサスをとるにつけながら、これの実施に向つての出発点にしなければ

ならない。早くも日本開催の大会の成否を祈らずにはいられなかった。



さて九月十四日世界選手権大会の初日、会場はブラットホームA、これに出場する日本の代表選手は羽鳥健司(神奈川) 巖谷春行(神奈川) 清水潔(広島)の三選手、暑くらしい会場にブルーのユニホ

ームが目立つ、各国から選ばれた二十八ヶ国八十四名の中で頑張っている。モデルが抽選とか、果してどんなモデルなのかここからは分らない健闘を祈る。午後二時三十分同じA会場でツーペ国際杯とこれには板垣周三(千葉)上野和彦(愛知)の二選手が参加。これもモデル抽選、ツー

の種目に選手達はどう対処しているのか、これからのこの業界として取りくんで行かねばならない分野でもあるし、そうした面では二人の選手を通して業界としてはその普及、そしてその市場性など大きな収穫が得られるのではないかと、側では多々良さん等大きな声をあげて声援している。新野理事長も会議等公式行事に出席の合間を見てはかけつけての応援である。

飽海支部技術講習会

飽海支部では二月二日酒田文化センターにおいて、支部技術講習会が開催されました。仲條支部長さんの挨拶で始まり、つづいて五十嵐教育部長さんより、国際理美容専門学校KBF講師の小倉先生が紹介されました。小倉先生の気さくなお人柄は、雰囲気と和ませ、分かり易い説明のもと染毛技術に入りました。放置時間の調節で白髪をグレイから黒へ、目立つことなく自然に、短時間で(三十分)染めあげ、しかも、臭いが気にならず、髪をソフトに

仕上るといった、本当に簡単な技法は、受講生にとっても好評のようでした。つづいて二液0分というソフトパーマの技術に移りました。髪の長さに対して、細目のロッドを使用しても、仕上がりはフリンガーセットで十分といった、見事なソフトトリゼントの出来あがりでした。刻々と変わって行く技術は、技術者の私達に、いつも新鮮なものを与えてくれます。



十時より二時迄、昼食ぬきでやった講習に、誰一人として席を立つ人もなく、皆さん熱心に先生の技術に見いつていました。

寒い中、参加下さいました役員の先生方、受講された七十五名の皆さん、本当に御苦勞さまでした。

飽海支部教育部長
 齊藤 みどり